

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(40歳代女性)ありました。症状はありません。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年初めての報告です。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代女性)ありました。症状は発熱、肺炎、菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(90歳代女性2例)(第3週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は6例となりました。
- 水痘(入院例)の報告が2例(60歳代及び80歳代男性)ありました。2例とも症状は発疹で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は3例となりました。
- 梅毒の報告が1例(40歳代男性)ありました。症状は硬性下疳です。感染地域は国内で、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は3例となりました。
梅毒の感染経路はほとんどが性的接触です。不特定多数との性的接触を避け、コンドームの使用などの予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見、早期治療が非常に重要です。
- 百日咳の報告が1例(10歳代女性)ありました。症状は持続する咳、夜間の咳き込みです。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は5例となりました。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の45.29(3,125例)から47.71(3,292例)と増加しました。全国でも同様に53.91から57.09と増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 5例(肺結核 なし, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 18例(肺結核 4例, その他結核 5例, 潜在性結核感染者 9例)うち喀痰塗抹陽性 1例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数1例】
- 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類: 水痘(入院例) 2例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 5例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	47. 71	3, 292
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7. 16	308
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 16	50
	③ 伝染性紅斑	0. 98	42
	④ 咽頭結膜熱	0. 40	17
	⑤ 突発性発しん	0. 28	12
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

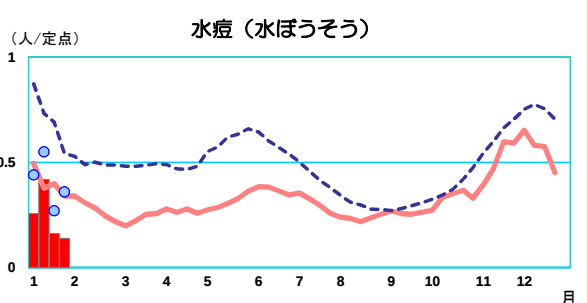
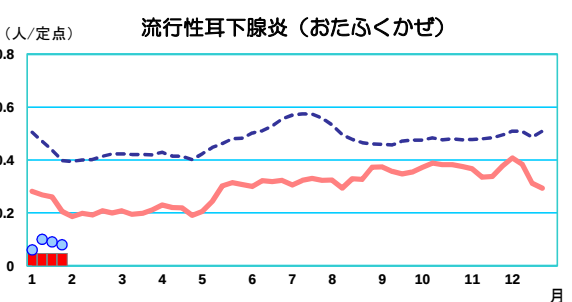
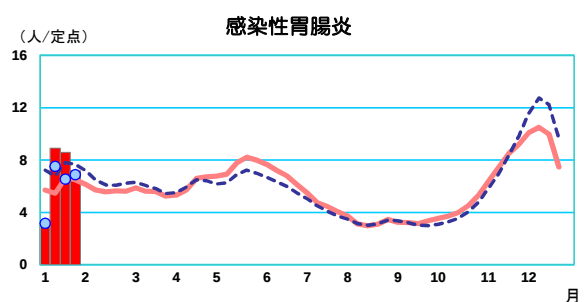
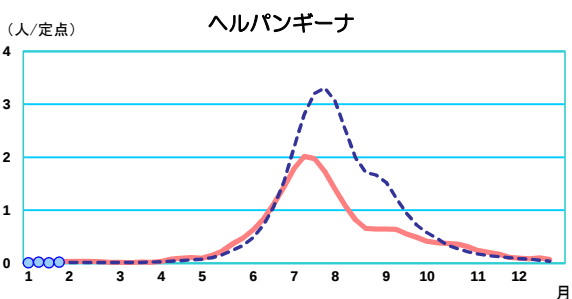
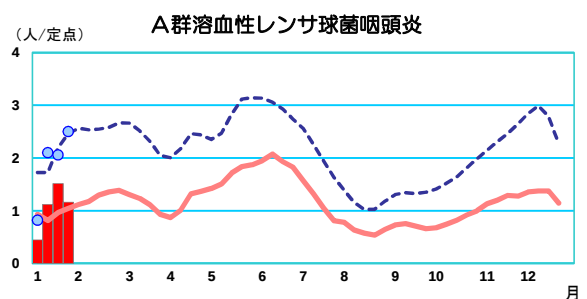
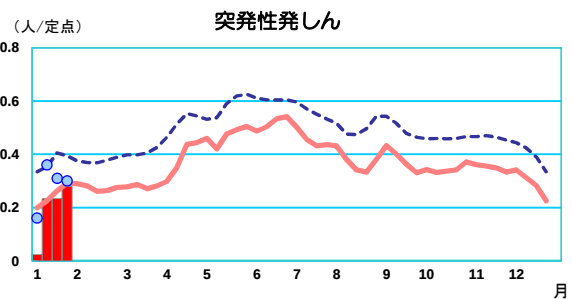
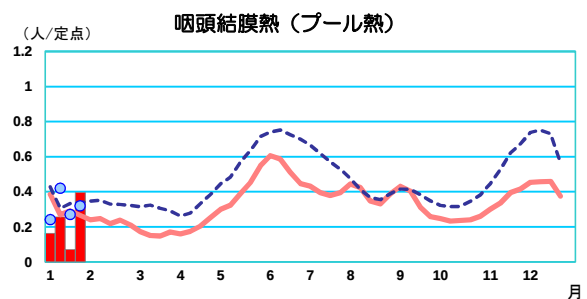
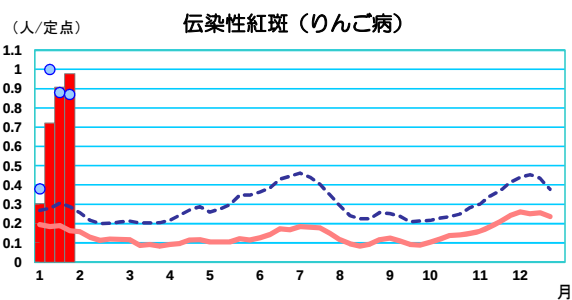
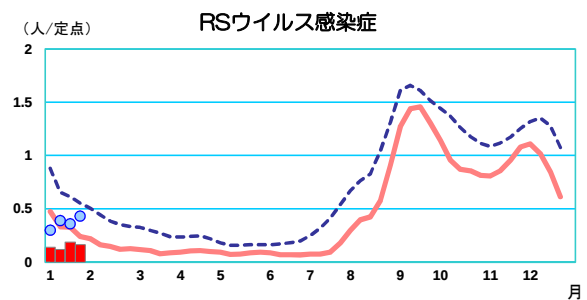
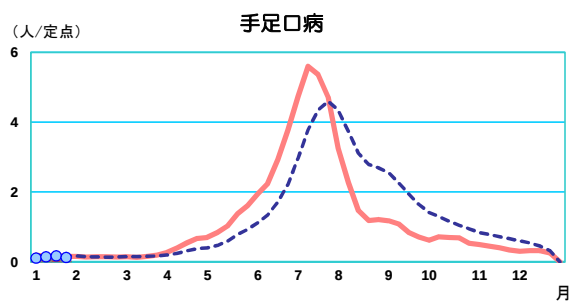
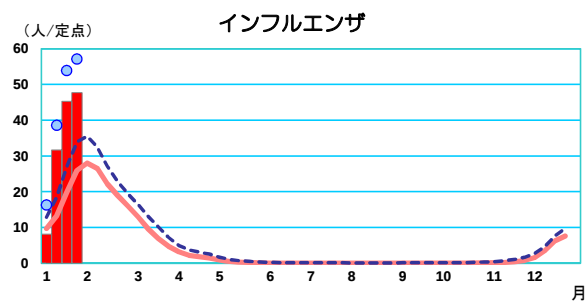
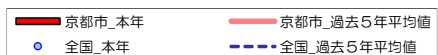
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年1月30日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第4週(1月21日～1月27日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、前週の45.29(3,125例)から47.71(3,292例)と増加しました。全国でも同様に53.91から57.09と増加しました(図1)。これらは京都市、全国ともに1999年の感染症新法^{*}施行後、最も高い値です。

都道府県別の発生動向を見ると、埼玉(84.09)をはじめ、新潟(77.70)、千葉(73.00)の各県で70を超えており、全ての都道府県で警報レベルの30を超えています(図2)。前週より減少した府県もあるものの、依然として全国的に大きな流行が継続している状況です。

過去10シーズンの発生動向と比較しても、今シーズンはこれまで最大の流行であった2017/18シーズンを更に上回っており(図3)、今後の発生状況を引き続き観察することに加え、個々人の感染防御と集団の感染拡大防止のために家庭や施設等での厳重な注意が必要です。体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど、予防を徹底し流行の広がりを防ぐよう努めましょう。

インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。

○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

^{*}感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成11年4月1日施行)

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

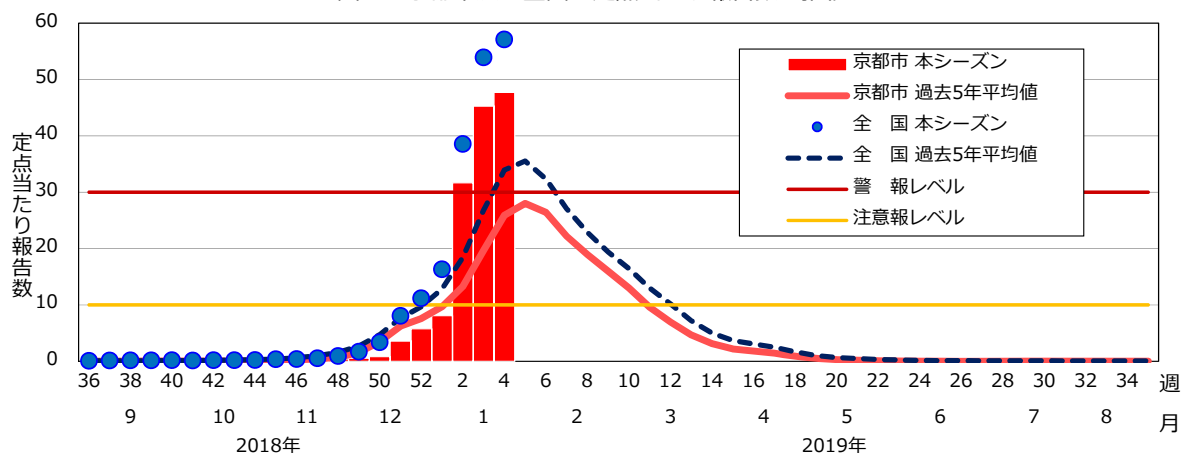


図2 都道府県別定点当たり報告数の推移

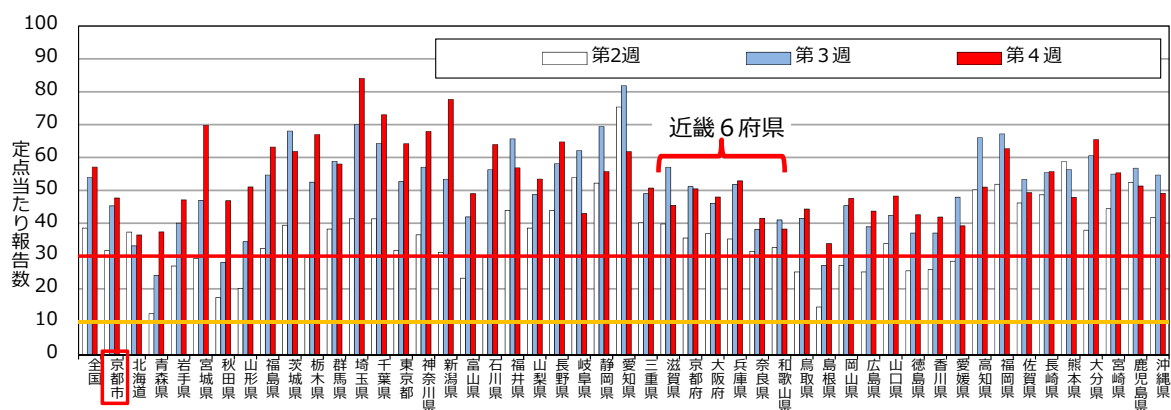
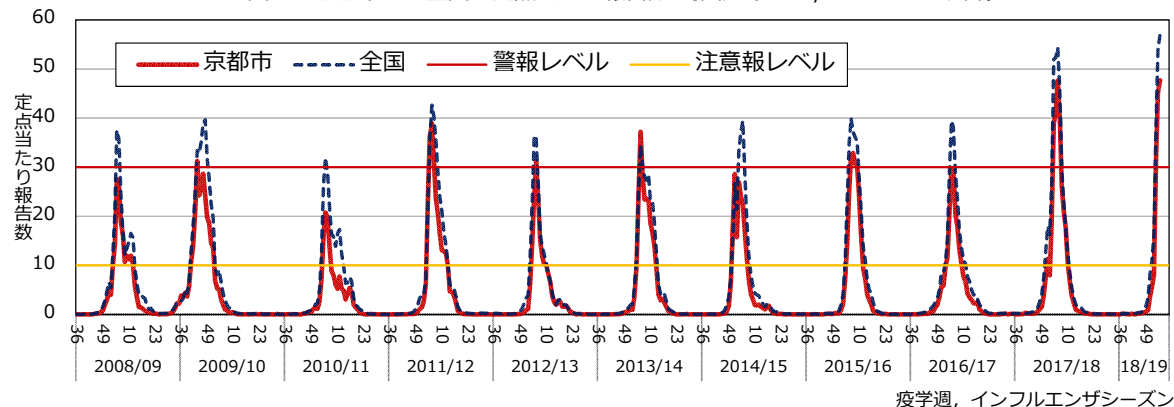


図3 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移(2008/09シーズン以降)



疫学週、インフルエンザシーズン

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第4週

疾病,行政区別報告数

2019年1月21日～2019年1月27日

データ入手日:2019年1月30日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	160	1	1	3	5	-	-	1	-	-	-	-	1					
上京	150	-	-	2	14	-	-	2	1	-	-	-	-					
左京	341	1	1	4	34	1	-	2	5	-	1	-	-					
中京	170	2	1	3	13	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	92	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-							
山科	327	-	-	-	-	-	-	10	2	-	-	-	-					
下京	87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	404	1	-	15	22	-	-	6	-	-	-							
右京	548	2	6	13	82	2	-	5	1	-	1	-	-					
伏見	619	-	5	5	76	1	1	6	3	-	-	-	-					
西京	394	-	3	5	46	-	-	10	-	-	-	-	-					
京都市計	3,292	7	17	50	308	6	1	42	12	2	2	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	22.86	0.25	0.25	0.75	1.25	-	-	0.25	-	-	-	-	1.00					
上京	30.00	-	-	0.67	4.67	-	-	0.67	0.33	-	-	-	-					
左京	48.71	0.25	0.25	1.00	8.50	0.25	-	0.50	1.25	-	0.25	-	-					
中京	34.00	0.67	0.33	1.00	4.33	0.67	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	30.67	-	-	-	8.00	-	-	-	-	-	-							
山科	46.71	-	-	-	-	-	-	2.00	0.40	-	-	-	-					
下京	29.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	80.80	0.33	-	5.00	7.33	-	-	2.00	-	-	-							
右京	68.50	0.40	1.20	2.60	16.40	0.40	-	1.00	0.20	-	0.20	-	-					
伏見	56.27	-	0.71	0.71	10.86	0.14	0.14	0.86	0.43	-	-	-	-					
西京	49.25	-	0.60	1.00	9.20	-	-	2.00	-	-	-	-	-					
京都市計	47.71	0.16	0.40	1.16	7.16	0.14	0.02	0.98	0.28	0.05	0.05	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第4週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年1月21日～2019年1月27日

データ入手日:2019年1月30日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	3, 292	5	34	133	152	187	201	212	178	193	223	157	477	129	193	210	201	131	94	93	89
インフルエンザ (※1)	年齢3	7	2	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		17	-	3	1	5	1	1	1	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		50	-	-	6	7	2	8	5	4	1	3	4	2	2	6	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		308	1	14	74	30	27	25	19	15	11	4	12	34	4	38	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		42	-	-	2	3	2	8	8	11	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		12	-	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	47.71	0.07	0.49	1.93	2.20	2.71	2.91	3.07	2.58	2.80	3.23	2.28	6.91	1.87	2.80	3.04	2.91	1.90	1.36	1.35	1.29
インフルエンザ (※1)	年齢3	0.16	0.05	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.40	-	0.07	0.02	0.12	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		1.16	-	-	0.14	0.16	0.05	0.19	0.12	0.09	0.02	0.07	0.09	0.05	0.05	0.14	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7.16	0.02	0.33	1.72	0.70	0.63	0.58	0.44	0.35	0.26	0.09	0.28	0.79	0.09	0.88	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		0.14	-	-	-	-	-	0.02	0.05	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.98	-	-	0.05	0.07	0.05	0.19	0.19	0.26	0.07	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.28	-	0.16	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第4週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年1月30日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	247	458	559	2,185	3,125	3,292
RSウイルス感染症	11	16	6	5	8	7
咽頭結膜熱	18	23	7	11	3	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	45	19	48	65	50
感染性胃腸炎	391	303	130	383	369	308
水痘	25	21	11	18	7	6
手足口病	18	11	5	4	2	1
伝染性紅斑	18	27	13	31	39	42
突発性発しん	6	13	1	10	10	12
ヘルパンギーナ	5	2	1	1	-	2
流行性耳下腺炎	3	2	2	2	2	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	3	1	8	1	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	817	924	755	2,706	3,631	3,740

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	3.58	6.64	8.10	31.67	45.29	47.71
RSウイルス感染症	0.26	0.37	0.14	0.12	0.19	0.16
咽頭結膜熱	0.42	0.53	0.16	0.26	0.07	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.65	1.05	0.44	1.12	1.51	1.16
感染性胃腸炎	9.09	7.05	3.02	8.91	8.58	7.16
水痘	0.58	0.49	0.26	0.42	0.16	0.14
手足口病	0.42	0.26	0.12	0.09	0.05	0.02
伝染性紅斑	0.42	0.63	0.30	0.72	0.91	0.98
突発性発しん	0.14	0.30	0.02	0.23	0.23	0.28
ヘルパンギーナ	0.12	0.05	0.02	0.02	-	0.05
流行性耳下腺炎	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.30	0.10	0.80	0.10	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	17.14	17.71	12.74	44.40	57.13	58.21

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。